

平成21年6月19日

プレス発表のお知らせ

報道機関 各位

国立大学法人 東北大学
Tel:022-217-5422(電気通信研究所総務課研究協力係)

「移動ネットワーク」の監視・管理のための基盤技術 NEMO-MIB の世界初の開発と国際標準化に成功

<概要>

東北大学電気通信研究所の白鳥則郎教授らのグループは、総務省SCOPEプロジェクトの支援を受け、(株)サイバー・ソリューションズ(仙台市)との共同研究で、次世代ユビキタスネットワークにおいて新しく登場する「移動ネットワーク」の監視・管理のための**心臓部**となる基盤技術「NEMO MIB (Network Mobility Management Information Base)」を世界に先駆けて**開発**した。さらに2009年4月14日にインターネットの国際標準化組織(IETF)の認定を受け、同技術を**国際標準規格**とすることに成功した。

現在のネットワークは固定的に構成されている。一方今後、新幹線、車、バス内などに構成されるネットワークのように、ネットワーク自身が移動する「移動ネットワーク」を対象とした新しいネットワーク管理技術の開発が強く期待されている。今回開発したNEMO MIBは、次世代ユビキタスネットワークにおいて新しく登場する移動ネットワークを遠隔から常時監視可能とする**世界初**の技術である。移動ネットワークが世界中のどのようなネットワークに接続していても、その状況を瞬時に分析・診断できるので、今後ネットワーク事業者が、安定かつ効率的に運用・保守するために不可欠な基盤技術として期待される。またネットワーク利用者は、新幹線やバスなどで移動中でも、オフィスや自宅と同様に、変更なく継続的にネットワークを利用することが可能となる。

東京大学大学院 情報理工学系研究科 江崎 浩 教授 のコメント

車や列車などそれ自体がネットワークであるような移動体が継続的インターネットへの接続性を維持することを実現するアーキテクチャ/プロトコルが NEMO (NETwork Mobility) です。システムが実展開するためには、システムの管理・制御機能が必須であり、そのために必須となるものが MIB である。今回、NEMO の MIB に関する標準化が IETF において完了したことは、実験運用による動作検証の段階を完了し、NEMO の商用導入・展開に向けた準備が完了したことを意味する。

記

- (1) 日時 : 平成21年6月24日(水) 午前11時00分より
- (2) 場所 : 東北大学電気通信研究所 2号館 2階 W214
- (3) 出席者 : 白鳥則郎 教授(東北大学)(情報処理学会会長)
キニ・グレン・マンスフィールド 社長((株)サイバー・ソリューションズ)
- (4) 発表形式 : 配布資料とプロジェクターによる説明
- (5) 問い合わせ : 東北大学電気通信研究所・白鳥研究室・菅沼 拓夫(022-217-5081)

*移動ネットワーク(NEMO): 新幹線、車、バス内に構成されているネットワークのように、それ自身が移動するネットワーク

**MIB: ネットワーク管理システムの核となるデータベース。人間における脳、コンピュータにおけるOSに相当。